



こどもたちは、オヤジのチカラを待っている？

おじやりんく通信



こども脳機能を導入



〒353-0002 埼玉県志木市中宗岡3-5-17
 スプリングマンション101号室
 TEL : 048-212-0881 FAX : 048-211-4164

輝 HIKARI 志木

おやじりんくが行う、 児童発達支援・放課後等デイサービス 『輝・HIKARI』志木」9月2日オープン！

埼玉県志木市にはじめての
 デイサービスを開設

9月2日から、埼玉県志木市において、児童発達支援・放課後等デイサービス『輝・HIKARI』志木』を開設しました。今まで埼玉県志木市には障害児を預かる放課後デイサービスがありませんでした。そこで『おやじりんく』として無いところをつくろうと考えて、地元で長年の間、母親の支援を行っている『一般社団法人ブレイバ』と協力して、父親支援団体と母親支援団体のコラボレーションにより本施設を開設。「障害児の療育の基礎とは丁寧な子育てである」という臨床心理士の原口秀之先生お言葉。「親のこころ」を大切にすることを目的としてデイサービスを設立しました。ひとりひとりが個性を發揮し、ソーシャルスキルを身につけて、地域で自分らしく生きる力を育めるように、ライフステージにあった「学び」と「遊び」の場を提供する事を目的として運営しております。

施設では中心となる指導訓練室の他、学習室を設置しており、パソコンを2台配置しています。パソコンソフトには、レディックス社の『こども脳機能パソコン』と『ビジョントレーニング』を導入して、子どもの特性を活かし、放課後の僅かな時間でも遊びながら学べるような環境づくりを行っています。

一般社団法人

おやじりんく & からふる 合同キャンプイベント！



8月30日から泊二泊で一般社団法人からふるとおやじりんくのコラボによる合同キャンプイベントを開催しました。このイベントは、国立青少年教育振興機構が行っている子ども夢基金の体験活動事業として開催しました。参加者は障害のある子どもたちや、そのきょうだい、お父さんや、お母さんたちが参加。

1日目は伊豆・三津シーパラダイスを訪れて、イルカショーを鑑賞。他には遊覧船に乗船してたくさんのお魚たちと触れ合いました。埼玉県は海がない土地



柄なので、普段は海で遊べる機会もない子どもたちも、とても喜んでいました。その後は宿泊施設となる埼玉県伊豆潮風館へ移動。夕食後は、地元で障害児者への支援を行っている『そらいろ』が合流して、潮風館のミーティングルームでミニコンサートを開催しました。

皆で歌ったり、手拍子をして演奏を楽しみました。夜は花火大会を行い、夏休み最後の夜を皆で楽しく花火で彩りました。

2日目は富士箱根伊豆国立公園内にある本栖湖を訪問。湖では水泳を体験しました。他には炭火で焼く自然の中のバーベキューを体験。野外での調理したりなどの野外活動を体験しました。障害のある子どもたちはなかなか野外でのこのような体験をすることが難しく、今回の合同キャンプイベントでは、母親と父親たちが協力して、様々な体験を通じて子どもたちの育成に役立つように！と企画。子どもたちを支援する側にとっても忘れてならない夏の思い出になりました。

「発達障害について考える」～親父パワーで障害児を支える～

第4回福祉・保健医療 JOINTセミナーにて講演させて頂きました。



9月13日は、埼玉県の危機防災管理センターにて、埼玉県福祉部・保健医療部の合同勉強会として開催している「福祉・保健医療JOINTセミナー」において、当団体代表理事の金子が勉強会の講師を務めました。

このセミナーには福祉部・保健医療部の職員を始め、埼玉県立大学、埼玉県総合リハビリテーションセンター、埼玉県社会福祉協議会、保健所の職員、医師会の方々など、70名の方が参加されました。今回は「発達障害について考える」親父パワーで障害児を支える」と題して、1時間10分に渉り講演を行いました。『発達障害の支援』と言っても、地域やその当事者の特性、拘りなど千差万別です。一言で『発達障害とは?』と語ることはできませんので、この講演では発達障害児を抱える一人父親としてその思いや、活動について伝えさせて頂きました。参加された職員や先生方は、普段は講師として登壇されるような方々ばかりであり、その方々を前に、一人のオヤジが話をするのは筋違いでもありませんが、一生懸命に当事者の親としての思いを伝えまします。このような自主的なものであります。このように福祉部・保健医療部の職員の方々が縦割りとなつて行行政を少しでも横の繋がりを持ち連携



妻としての… 妻への支援も大切!

講演の後は質疑応答の時間を設けて頂きました。質問では「県の相談機関には母親からの悩みがとても多い。そんな強い困り感をもつている母親に対してどのような相談に乗ってあげれば良いか?」との質問。それに対して金子は「おやじリンクの活動は父親からの当事者支援という活動もあるが、母親の支援、妻への支援もとても大切であると感じている。悩んでいる母親をケアするのは、夫としての役目でもあり、そういう支援もできるように一家の大黒柱である父親たちは連携して支援の輪を広げていきたい」と答えました。このような県と一緒に支援を考える場を設けて頂き、埼玉県には心より感謝申し上げます。

障害児を持つ親が知っておきたい労務のこと
平野厚雄さん講演



8月24日、文京区のアカデミー茗台にて『障害児を持つ親が知っておきたい労務のこと』と題してイベントを開催しました。

障害児を抱えていると「突然」の出来事も多く、急に会社を休まなければならぬ時もあります。でもなかなか休みづらい、突然休むと休暇になって収入が下がる?有給休暇って事前に届けていないと認められないの?サラリーマンとして勤め先との交渉に対して、知っておきたい労務のことについて、社会保険労務士でありファイナンシャルプランナーでもあり、そして発達障害児を抱えるオヤジとして様々な支援活動されている平野厚雄さんに講演を行って頂きました。



平野さんは8月に書籍『発達障がいの子もお金のことが親が亡くなった後のこと』を出版。今回の講演はその書籍の内容から、障害の受容や、その子のライフプランを考へて、お金に関する教育、リスクや年金制度などについて講演して頂きました。



望遠鏡視点 ~父親の重要性~について講演

深谷はばたき特別支援学校 父親交流会

8月13日、埼玉県深谷市の深谷はばたき特別支援学校の父親交流会にて「望遠鏡視点〜父親の重要性〜」と題して代表理事の金子が講演。この交流会には深谷はばたき特別支援学校の校長、教員、そして保護者の父親、地域の支援学級に在籍する父親たちやPTAの方々約30名が参加。



紹介、また二ユーヨークで懇談したカニングハム久子先生との懇談内容についても紹介して、将来の自立・就労を見据えた父親たちの団結の重要性について講演しました。講演後は参加者の方々と交流会を開催参加者が各々自己紹介も兼ねて、悩みや子どもへの問題について意見交換を行いました。

松田浩孝県議会議員、西川かずお市議会議員が『輝-HIKARI-志木』を視察



9月14日、輝-HIKARI-志木の施設に、鹿児島県議会議員の松田浩孝議員が視察に在所されました。また、志木市の地元の市議会議員である西川かずお議員も同席されました。

松田県議会議員とは、鹿児島県での発達障害に関する支援や埼玉県での支援に関する事について意見交換を行いました。また同席された西川市議会議員とは志木市での「学び」という観点で発達障害の子どもは幼少期の学びがとて大切であるということもお伝えして、輝-HIKARI-志木の地元議員として施設を地域の子どもたちが利用しやすいような環境整備を市政で整えて頂くように要望いたしました。

FmYokohama84.7に出演

9月15日は代表理事の金子と、理事の大谷でラジオ局のFmYokohama84.7にお伺いしました。毎週金曜日の午前5時30分から30分番組で行われている『Yokohama Social Cafe』の番組に出演させて頂くため収録にお邪魔しました。

DJのお二方が一番興味を持ってくれたのが、発達障害児の子育てを例えるなら「母親は顕微鏡、父親は望遠鏡」という部分でした。私たちおやじリンクは望遠鏡を持ち、将来の我が子らの様な発達障害のある人々への自立・就労を、今から創りあげていくという活動に対して強く理解を示して頂きました。放送日は10月4日と11日の2週に渉って放送されました。なお、この番組内容はPodcastでも再放送を聴くことができますので是非お聴きください。



Happy*Infomation!

2013年7月17日、代表理事の金子が三児のパバになりました! 元気な女の子、真彩(まや)ちゃんです。